

漢方薬で癒す

こころとカラダ 191

花粉症の目のかゆみに

消風散

春になるとやって来るのが花粉症です。特に花粉が黄砂の多い日と重なると目のかゆみが半端ではありません。「目玉を取り出して掻きたい」という人がいるくらいです。そんな時、漢方のかゆみ止めである「消風散」が内服で使えます。もともと皮膚のかゆみを止める薬ですが、目など粘膜や目の周りの皮膚のかゆみにもよく効きます。構成生薬の一つに「蟬退」とありますが、これは蟬の抜け殻のことです。最近の研究によると昆虫

や甲殻類の殻に含まれるキチン質には強い抗ヒスタミン作用があることが分かりました。ヒスタミンこそが花粉症のかゆみの正体ですから、蟬の殻は理に合った成分といえます。なお、漢方薬で使われる蟬は「黄金ゼミ」という種類で、竹藪の落ち葉の中で育つため、泥の付着がなく、清潔です。

(小児科部長 池野一秀)

消風散 しょうふうさん

【効能又は効果】

分泌物が多く、かゆみの強い慢性の皮膚病(湿疹、蕁麻疹、水虫、あせも、皮膚そう痒症)

※必ず医師の指示のもと服用してください。

池野医師の書籍紹介

Dr. イケノの 思春期お悩み相談室

漢方薬で癒すこころとカラダ

著：池野一秀

価格：3,278 円(税込)

B6 判・180 頁

発行：新興医学出版社



当院 1 階売店
「ハーモニー」
にて好評発売中!

